

## 応用練習問題 1

<解答>

仕 掛 品			
月初有高	42,750	製 品	288,000
直接材料費	106,250	月末有高	46,000
直接労務費	90,100		
製造間接費	<u>94,900</u>		
	<u>334,000</u>		<u>334,000</u>

製 品			
月初有高	52,000	売上原価	279,000
仕掛品	<u>288,000</u>	月末有高	<u>61,000</u>
	<u>340,000</u>		<u>340,000</u>

損 益			
売上原価	279,000	売上高	400,000
販売費	35,000		
一般管理費	6,000		
営業利益	<u>80,000</u>		
	<u>400,000</u>		<u>400,000</u>

### 【解説】

費目別原価計算（第2章から第5章まで）の理解度を問う総合問題であり、個々の仕訳には特別難解なものはないが、与えられている資料の数が非常に多いため、順を追って整理することが必要である。特に製造間接費、販売費、一般管理費を正しく区別して計算できるかどうかポイントになる。

### 《資料 1》材料費の処理

材料Xと材料Yについて下記の図を作成し、当月の材料消費額を計算する。

材料X(平均法)		材料Y(先入先出法)	
月初有高 200個 × @121円	当月消費 850個 850個 × @125円 = 106,250円	月初有高 80個 × @55円	当月消費 310個 80個 230個
当月購入 800個 × @126円	月末有高 150個 150個 × @125円 = 18,750円	当月購入 370個 × @50円	80個 × @55円 + 230個 × @50円 = 15,900円
			月末有高 140個 140個 × @50円 = 7,000円

★平均単価

$$(200 \times 121 + 800 \times 126) \div (200 + 800) = 125\text{円}$$

ここで、材料Xは主要材料、材料Yは補助材料としてそれぞれ消費されたから材料Xの当月消費額は直接材料費、材料Yの当月消費額は間接材料費となる。したがって、

- ・材料Xの当月消費額：106,250円 → 直接材料費へ
- ・材料Yの当月消費額：15,900円 → 製造間接費（ア）へ

### 《資料 2》棚卸減耗損の処理

材料Yは実地棚卸数量と帳簿上の月末有高が140個で一致しているため棚卸減耗損は発生していないが、材料Xは月末有高150個に対して実地棚卸数量が146個だから4個分の棚卸減耗損が発生している。材料Xの平均購入単価は125円だから棚卸減耗損は次の通りである。解答欄に棚卸減耗損はないので製造間接費に含めて処理するものと判断する。

- ・棚卸減耗損：4個 × @125円 = 500円 → 製造間接費（イ）へ

### 《資料 3》間接材料費の処理

消耗工具器具備品（ドライバーなど）や工場消耗品（機械油など）は間接材料に分類されるから、これらの消費額の合計7,900円は間接材料費である。→ 製造間接費（ウ）へ

### 《資料 4》賃金及び給与の処理

従業員に支払った賃金及び給与は、どの職種の従業員に支払われた賃金あるいは給与であるかによって直接労務費、間接労務費、販売費、一般管理費にそれぞれ区分されることに注意が必要である。資料4より原価計算上の当月の賃金・給与支払額を計算し、職種別

に分類すると次のようになる。

- ・直接工：92,000+33,200-35,100=90,100円→直接労務費へ
- ・間接工：35,800+12,600-11,100=37,300円→間接労務費：製造間接費（エ）へ
- ・工場事務職員：18,400+6,300-5,900=18,800円→間接労務費：製造間接費（オ）へ
- ・営業部社員：25,300+8,900-9,200=25,000円→販売費（A）へ
- ・取締役：5,000+1,300-1,800=4,500円→一般管理費（a）へ

#### 《資料6》材料と労務費以外の費目の処理

工場で発生した減価償却費や各種の経費は製造原価に含まれるので間接経費となるが、本社で発生した経費や製造と直接関わらない経費は製造原価ではなく一般管理費に含めて処理することに注意が必要である。

- ・工場建物の減価償却費 6,000円→間接経費：製造間接費（カ）へ
- ・本社ビルの減価償却費 1,000円→一般管理費（b）へ
- ・機械設備の減価償却費 3,000円→間接経費：製造間接費（キ）へ
- ・工場で使用する水道光熱費 4,000円→間接経費：製造間接費（ク）へ
- ・本社ビルで使用する水道光熱費 500円→一般管理費（c）へ
- ・工場の固定資産税 1,500円→間接経費：製造間接費（ケ）へ
- ・販売費 10,000円→販売費（B）へ

以上より、製造間接費（ア～ケ）、販売費（AとB）、一般管理費（a～c）は次のように計算される。

- ★製造間接費：15,900（ア）+500（イ）+7,900（ウ）+37,300（エ）+18,800（オ）  
+6,000（カ）+3,000（ク）+4,000（ケ）+1,500（コ）=94,900円
- 販売費：25,000（A）+10,000（B）=35,000円
- ◆一般管理費：4,500（a）+1,000（b）+500（c）=6,000円

#### 〔仕掛品勘定の完成〕

また、《資料5》より仕掛品の月初有高と月末有高を記入すると、貸借差額から仕掛品勘定の貸方の製品は288,000円と計算できる。

#### 〔製品勘定の完成〕

《資料5》と仕掛品勘定の貸方の製品が288,000円であることから、売上原価は貸借差額より279,000円と計算できる。

#### 〔損益勘定の完成〕

売上原価、販売費、一般管理費を記入し貸借差額から営業利益は80,000円と計算できる。